

ふくしま農業女子ネットワーク 農女ぴより



豊川さんの畑で収穫を迎えた会津伝統野菜の「小菊カボチャ」

◆豊川智美さんの出店
 予定イベント▶9月22日
 =会津マルシェ(会津若松市・スマートシティアイクト)、give me vegetable in FUKUSHIMA(福島市・あんざい果樹園)
 ▶23日=「色」祭り(三島町・つるのiroriカフェ)
 ▶28日=開成マルシェ(郡山市・開成柏屋中庭)
 ▶29日=市場まつり(会津若松市・公設地方卸売市場)※天候などの理由で不参加になる場合があります。



とよかわ ともみ
豊川 智美さん(会津若松市)

農園への応援に感謝

会津坂下町にUターンし、自然に寄り添うスタイルの農業を始めてはや5年。『会津農書』にもあるように、農業は地域の文化や気候、そして何よりも人と密着した職業であると感じます。

新規就農者はず、農地を借りることから始まります。遊休耕地はたくさんありますが、先祖代々守ってきた土地を他人に貸すことには信頼関係が必要です。実家の集落の方々には皆、快く大切な土地を貸してくださり、本当に感謝しています。農園にある道員は中古の小型トラクターと管理機、素晴らしくわが数本。敵にマルチシートを張る作業は夫婦でけんかしながらやっています。今年、今年農家仲間から機械をお借りし、作業が数日分短縮されました。去年は穀物の選別に使う「唐箕(とうみ)」という農機具などを譲ってもらいました。大豆の選別は本当に時間と手間のかかる作業だったのでも、とても助かりました。

販売は県内外のマルシェや直売イベントにも参加しており、出店を重ねるごとにお客さまが増えていきます。お客さまとの会話は勉強になることばかり。調理方法が地域によって違ったり、さまざまな料理に合う食材や薬草をリクエストされたりします。旬の野菜やハーブティーを注文いただく飲食店の皆さま、夏の会津伝統野菜「余蔞(よまき)」「キュウリ」を楽しみにしてくれる子どもたち、おいしそうな献立に仕立てて

くださる学校給食センターの皆さま。… 本当にありがとうございます。

ITやAI技術が発達する中、人と人の関係性が再び重要視される現代。強い信頼関係が農業はもちろん、社会を築き上げると感じます。夫婦で営む小さな農園でできることは限られますが、地の味と力「会津テロワール」をたくさんの方にお届けできるよう、日々挑戦し続けます！

▶プロフィール▶ 会津坂下町出身。2014年にUターン就農し、会津伝統野菜や薬草の栽培を始める。地元直売所や県内外の飲食店、マルシェ、自身のネットショップ「リオリ」(https://www.ririo.oricodo.com/)で販売している。